



高上親王航海記

THE VOYAGES OF PRINCE TAKAOKA

世田谷パブリックシアター

2019年1月24日(木)19:30開演 / 25日(金)19:30開演
26日(土)15:00開演 / 27日(日)15:00開演 開場は開演30分前

チケット一般発売開始 10月15日(月)10:00 ~

全席指定 一般 前売 A席 5000円 B席 4000円 / 当日 A席 5500円 B席 4500円

主催 一般社団法人天使館 提携 公益財団法人せたがや文化財団 / 世田谷パブリックシアター
後援 世田谷区 協力 STUDIO ARCHITANZ
助成 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会 公益財団法人 Asahi アサヒグループ芸術文化財団

笠井勲
BOOK TATSUHIKO SHIBUSAWA
DANCE AKIRAKASAI

舟行海北

九世紀半ば、平城帝の第三皇子高丘親王は
 広州から船で天竺へ向かった。ときに六十七歳。
 『高丘親王航海記』は東南アジアの海陸を
 経巡る幻想冒險譚に仕立てた澁澤龍彦の絶
 筆である。この物語は親王の最期と、自らの咽
 頭の病を重ねた結末となっている。笠井叡は初
 期公演から渡独までの間、澁澤氏と濃密な交
 流があった。澁澤氏はマルキドサド著作の翻
 訳に始まり、西欧の思想、文学、美学、博
 物学を広く紹介し、後半は日本回帰の道を
 とった。その頂点が『高丘親王航海記』だろう。
 親王は幼年期、父帝の愛妾であった藤原薬子
 から天竺の存在を知り、「薬子の変」（八一〇年）
 のうち空海の門に入った。この著作は「儒艮」「蘭
 房」「猿園」「蜜人」「鏡湖」「真珠」「頻伽」
 の七章で構成されている。高丘親王、藤原薬
 子をはじめ、従者安展、円覚、秋丸、春丸（芸
 妓）、パタリヤ・パタタ姫、狂王世隆、航海
 天文士カマル。他に、猿、オオアリクイ、白猿、
 鳥女陳家蘭、犬頭男、迦陵頻伽など奇想の
 動物たちも多く登場する。まさに澁澤龍彦博
 覧強記の幻想譚へと深化していく。演劇や音
 楽、絵画、様々な分野に翻案されてきた『高
 丘親王航海記』を、いよいよ笠井叡が迷宮
 ダンスという一大スペクタクルに再生する。

山口奈緒子 蜜人／自然靈

プロデューサー
笠井久子（一般社団法人天使館）

世田谷パブリックシアター(3F)

シアタートラム(1F)

世田谷線
三軒茶屋駅

三茶パティオ
(地下通路)

世田谷通り

キャロットタワー

国道246号線

中央改札

田園都市線
三軒茶屋駅

西改札

渋谷

〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1 TEL.03-5432-1526
三軒茶屋駅 [東急田園都市線 5分・世田谷線] より直結

公演特設ホームページ



27 日(日) 笠井勲／菅野明正(世田谷文学館館長)

(10:00～19:00、年中無休※ただし、臨時休館日をのぞく)